

主要設備の紹介

受入工程



収集車で集められたごみは、ごみ計量器での重量を測定した後施設の中へ運ばれます。

ごみ計量器



ごみ投入扉3基、ダンピングボックス用投入扉1基合わせて4基の扉があります。

プラットフォーム



ごみピット

約6日分のごみを貯蔵できます。ごみクレーン運転は自動で運転も行うことができます。

燃焼溶融設備



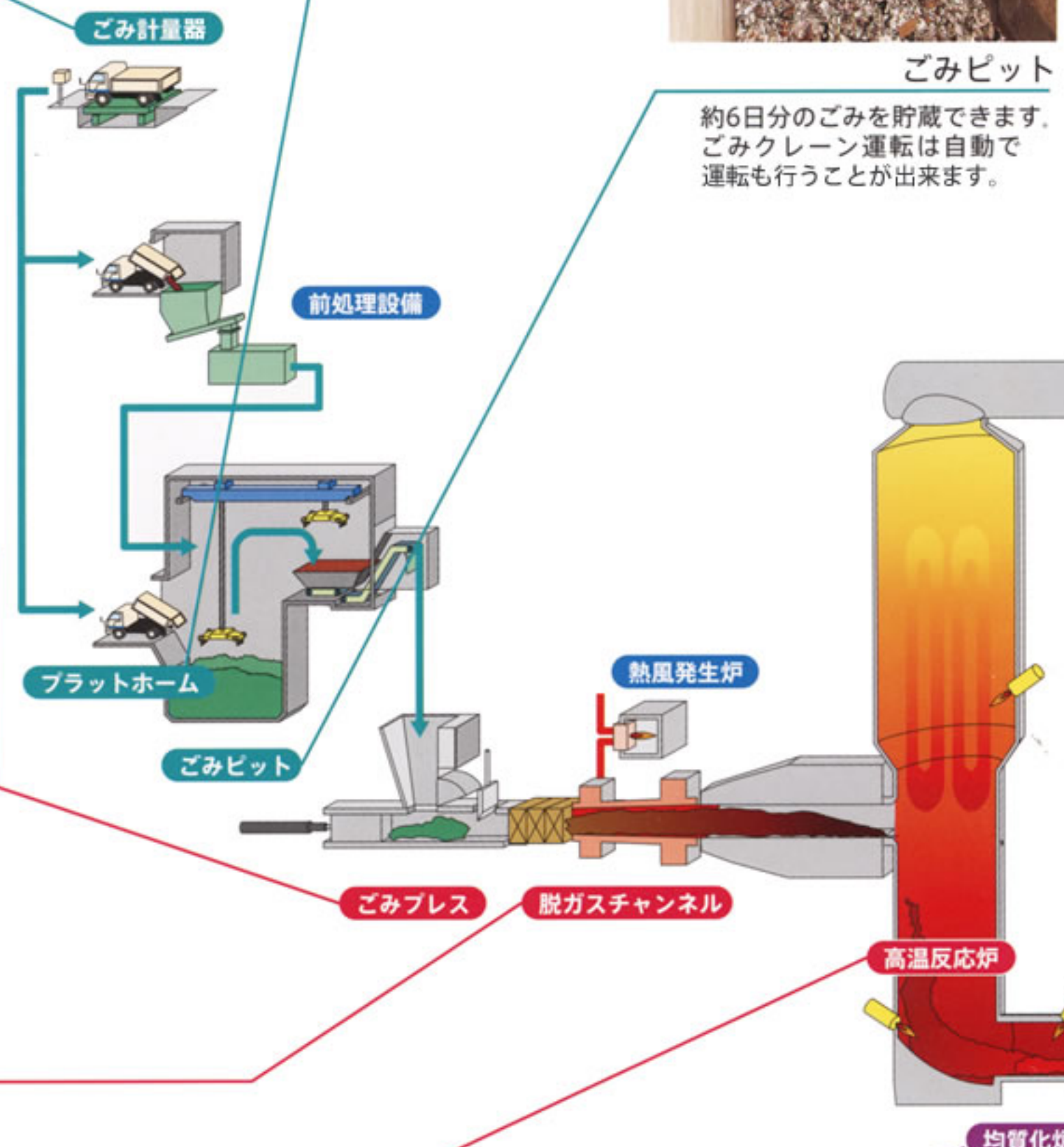
ごみプレス

ごみを一定量ずつ約1/5に圧縮して、ごみ中の空気を取り除いて脱ガスチャンネルに順次ごみを送ります。



脱ガスチャンネル

ごみプレスと炉の間に位置します。外熱式の脱ガスチャンネルでごみを乾燥、脱ガスします。



ガス冷却・ガス精製設備



急冷塔

ガスを酸性水で1,200℃から70℃に急速冷却させ、ダイオキシンの再合成を抑制します。



酸洗浄塔

再び酸性水で洗浄することにより、ガスを更に清浄化させます。



アルカリ洗浄塔

弱アルカリ水で洗浄し、酸性のガスを中和します。



脱硫塔

ガスに含まれる硫黄分を除去します。

余熱利用・発電設備



ガス焼きボイラ

ガスエンジンと同様に、回収した燃料ガスをボイラ用として使用します。ボイラから得られた蒸気は施設内で使用されます。



ガスエンジン

回収した燃料ガスをガスエンジン発電に利用します。得られた電気は施設内の設備稼働のために利用されます。

高温反応炉

炉に設置されたバーナから酸素、天然ガスを吹き込み、ごみから燃料ガスおよび溶融物を取り出します。燃料ガスを1,200℃で2秒間以上保持することでダイオキシン類は分解されます。

スラグメタル処理設備



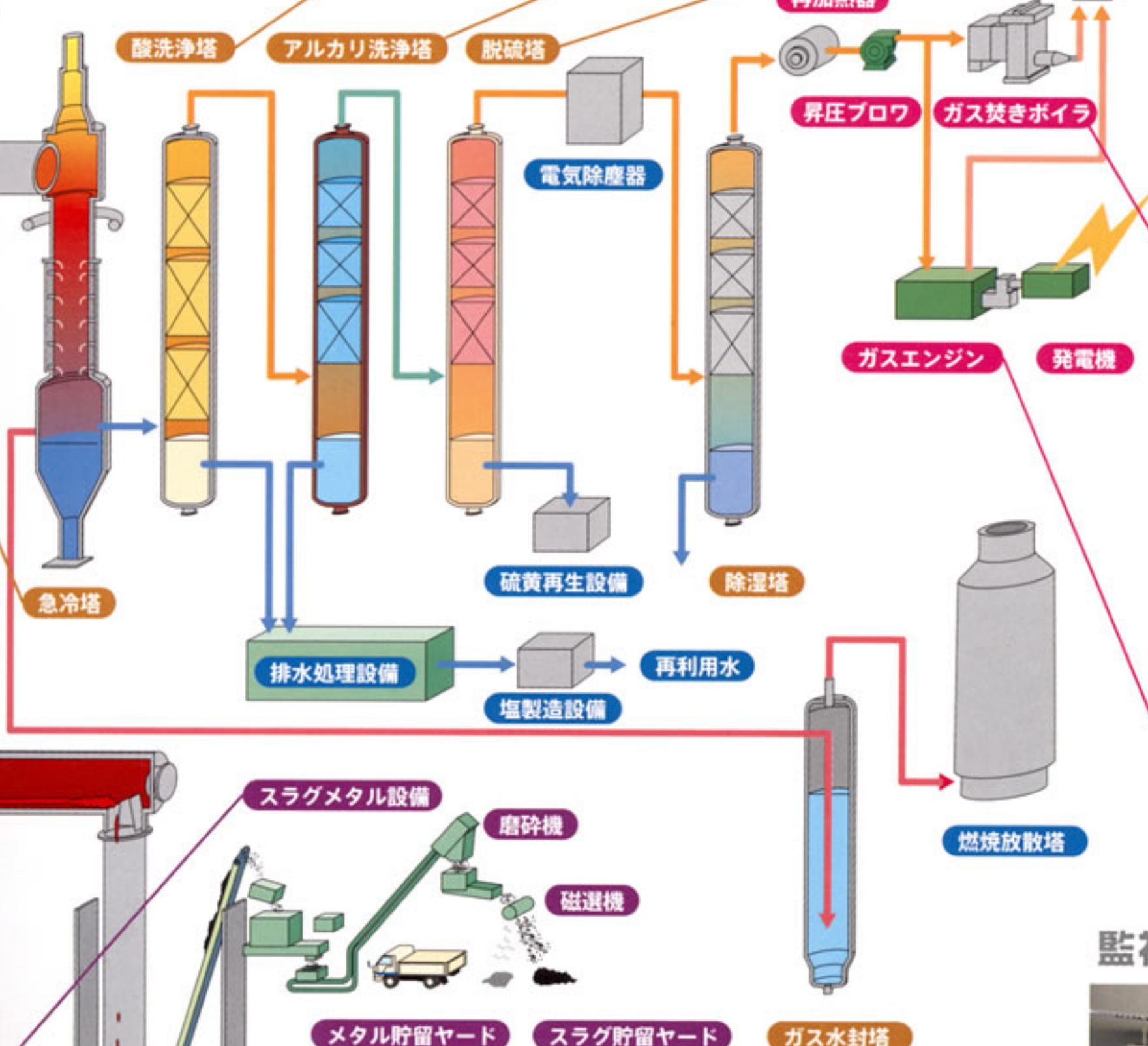
均質化炉

溶融物は均質化炉で均質になった後に、スラグ・メタルとして水砕ピットで水冷されます。



スラグメタル設備

スラグ・メタルは搬送コンベアを経て、次工程に運ばれます。



監視設備



管理制御室

中央で全ての情報を一元的に管理し、施設の信頼性と安全性の確保を図っています。